



東北大学



平成 26 年 6 月 3 日

報道機関各位

東 北 大 学
プルデンシャル財団

米国プルデンシャル財団が東北大学の震災復興プログラムを支援
～東北大学地域イノベーションプロデューサー塾の卒業生に対する事業化資金約 1 億円の助成～

1. プルデンシャル財団（米国）からの支援決定について

東北大学では 2013 年度より震災復興支援プロジェクトの一つとして「地域イノベーションプロデューサー塾 (RIPS)」を本格的に開講し、経済復興を支援するビジネスリーダーを育成してきました。この度、米国に本拠地を置く世界最大級の金融サービス機関であるプルデンシャル・ファイナンシャル・インクの社会貢献事業を担うプルデンシャル財団から、同塾の卒業生に対する事業化資金として約 1 億円の支援を受けることとなりました。

この支援は、震災後の救援、復興、生活再建の支援を目的としてプルデンシャル財団が行ってきた約 6 億円を超える支援の一部です。プルデンシャル財団からの支援は、「地域イノベーションプロデューサー塾」の卒業生が本塾のプログラムを通してブラッシュアップした革新的な事業計画に対して、2014 年 6 月より 3 年間にわたり、年間 3000 万円、総額 9000 万円の「事業支援金」として贈られます。「事業支援金」は、宮城、岩手、福島の被災 3 県を中心とした地域経済を牽引するような地元企業の革新的な事業活動に活用され、内発的な経済振興に貢献することが目的です。今回の支援は、米国の財団が東北大学に対して行う極めて珍しい支援です。また、大学の企業育成への支援という点でもこれまでにない取り組みで、特筆すべきものです。

東北大学は東日本大震災の発生直後に、復興活動の先導役として災害復興新生研究機構を設置しました。以来、同機構は 8 つの復興プロジェクトを実施しています。そのひとつである地域産業復興支援プロジェクトでは、大学院経済学研究科の地域イノベーション研究センターの主導のもと、東北地方の産業や文化の再生を支援するための研究が行われています。地域イノベーションプロデューサー塾も同プロジェクトの中で運営されており、経済を強くする新しい地元企業の育成を手掛けています。

プルデンシャル・ファイナンシャル・インクのバイスプレジデント（CSR 担当）兼 プルデンシャル財団理事長であるラタ・レディーは、次のように述べています。「被災地の経済復興のために将来のビジネスリーダーを育てようという東北大学の取り組みに協力でき、とても光栄です。地元の中企業と協力する東北大学の活動は、自然災害により被災した地域を支援し、今後の災害復興に要する時間を短縮するために継続して支援を行いたいという私たちの考えに、まさに合致するものです。」

プルデンシャル財団は今回の支援以外に、震災直後の緊急支援（社員への支援約 1 億円を含む）や復興のための継続支援などに、5 億円を超える支援を行っています。プルデンシャル財団は東北地方の復興と長期的発展を支援すべく尽力しています。

2. 2014 年度プルデンシャル財団助成金採択者の決定について

2014 年度プルデンシャル財団助成金は、一次審査（書類審査）、二次審査（審査委員会委員による面接審査）を経て、次の2社1個人の3事業に対し交付することを決定しました。

採択者名	会社名	所在地	事業名	事業概要	助成金額
伊勢 ちかこ (47)	イリナ・ ミュージカル 代表	宮城県 仙台市	ミュージカル体験によるパーソナルグロ ーアップ事業 ～東 北発、ブロードウェイ・エ ンターテイメント・イノベーション ～	ミュージカルの既存ビジネスモデルを、ヒューマン教育、地域コミュニティ形成の促進をもにらんだ、教育事業をベースとした新しい価値による収益構造に転換させる事業。	1,000 万円
齋藤 栄太 (33)	齋栄織物 株式会社 常務取締役	福島県 川俣町	次世代シルク糸の開発による高機能シルク織物の開発と国内外への販路開拓事業	超高級素材であるシルクを、加工し易く、扱いやすい素材とする技術を開発することにより、高級感とカジュアル感を併せ持つ素材に転換し、市場シェアの拡大、自社ブランド価値の拡大を目指す事業。	1,000 万円
箱崎 陽介 (36)	ハコショウ食品 工業株式会社 代表取締役	岩手県 花巻市	日本伝統の「だし」生成技術の活用による食のあたらしい価値創造事業	日本の伝統的な「和だし」の生成技法を応用し、新原料の「だし素材」を開発するとともに、「だし生成法」を確立して知財化を進め、サービス・商品販売を行う事業。	800 万円

<参考>

プルデンシャル・ファイナンシャル・インクについて

プルデンシャル・ファイナンシャル・インク（ニューヨーク証券取引所上場：ティッカーシンボル PRU）（総預かり運用資産約 1 兆 1,000 億ドル/2014 年 3 月 31 日現在）は、金融業界をリードする企業として、米国、アジア、ヨーロッパ、ラテン・アメリカの拠点で活動しています。プルデンシャルの多様かつ多才な社員は、生命保険、年金、退職関連業務、投資信託、資産運用など、幅広い商品とサービスの提供を通じて、個人および法人のお客様の資産を守り、育てるお手伝いをしています。米国において、プルデンシャルを象徴する「ロック」ロゴは、一世紀以上に渡って強さ、安定、ノウハウ、そしてイノベーションを表してきました。更に詳しい情報は、<http://www.news.prudential.com/> をご覧ください。

プルデンシャル財団について

プルデンシャル財団は、人々が、衣食住などの基本的なニーズを満たし、質の高い職業に就き、資産を築き、よりよい地域社会を築いていくためのお手伝いをしております。人々がこのような生活をめざすに当たり、金銭的・社会的な障壁となっているものを取り除くために、社会の体系的な変化を提唱していきたいと考えております。また、プルデンシャル財団は戦略的投資家として長期的にコミットし、助成と投資プログラムという2つの分野で目に見える結果を生み出すことをめざしております。

◆プルデンシャル財団の支援の概要

	内 容
目的	RIPS 卒塾生が策定する革新的な事業計画資金を助成することにより、新たな雇用の創出や地域企業の事業革新のロールモデルを導出し、地域経済の活性化及び早期の震災復興の実現に資する。
助成対象者	RIPS 卒塾生が実施責任者となって事業を行う被災3県および東日本大震災で被災した会社および個人。
助成件数・金額	・総額：3年間に100万ドル（約1億円） ・助成件数：年間3～5件／助成金額：年間3,000万円程度 ※1事業あたり最大1,000万円
選定方法	一次審査：書類審査／二次審査：外部審査委員会による審査 ※2014年度審査委員長：守本東北経済産業局長
支援期間	2014年度～2016年度の3年間 ※東北大学が採択事業者に対して定期的にコンサルティング等の支援を行う。
成果報告等	東北大学は採択された事業の進捗状況や成果等を定期的にモニタリングし、プルデンシャル財団に報告する。

本件に対するお問合せ先：

◆「地域イノベーションプロデューサー塾」について

東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター

地域連携推進室長 富澤 辰治

TEL:022-217-6265 FAX:022-217-6266

E-mail:rips@econ.tohoku.ac.jp

◆プルデンシャル財団およびその支援について

プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン株式会社

広報担当 高濱 良治 03-5501-6407